

## 平成30年度 第1回地域福祉推進会議

各所属が実施している地域福祉の推進とかかわりの深い事業（＝「関連事業」）について、内容を共有しながら、地域福祉の視点から、関係所属間でどんな連携が必要か、市民主体の取組の支援策にはどんなものがあるかなど、「実践」のための議論を行いました。



### 開催概要

#### 日時

平成30年 7月5日(木) 14:30～17:00

#### 会場

廿日市市役所 7階会議室

#### 参加者

26人

(市職員:22人、市社協職員:2人、アドバイザー、オブザーバー)

### プログラム

#### 1 はじめに

#### 2 地域福祉推進会議とは、今年度の進め方

#### 3 議論

(1) 今日の目標、進め方説明

(2) グループワーク

「地域福祉とのかかわり」を考える

(3) 全体共有(5グループ×3分)

#### 4 講話「廿日市市における地域福祉の推進」

アドバイザー 日本大学 文理学部 諏訪 徹教授

#### 5 おわりに

まとめ、「今日の感想」記入

### 「地域福祉推進会議」とは

○ この会議は、第2期地域福祉計画策定時の形を推進のための組織として残し、年に3回程度「全体会」として平成28年度から開催しています。

○ 計画をきっかけとして、地域福祉の推進がなぜ必要か理解を深め、それぞれの所属で既に取り組んでいる事業について、地域福祉との関連をより意識し、よい成果が得られることをねらいとしています。

○ 人口が減り、高齢者が増えている今、福祉、保健、医療などの分野はもちろんのこと、防災、しごと、住まいなど、どの部署にも広くかかわりがあり、連携も必要となっていることから、多くの所属に参加してもらっています。

○ この場での議論や実践を踏まえ、外部委員で構成している「地域福祉計画推進委員会」にも意見や助言をいただいています。

○ 年間のサイクルとしては、第2回を秋頃に開催し、「関連事業」の進捗状況を共有したのち、2月頃に開催する第3回の会議で、成果と課題を確認し合い、次年度以降に向けた改善策を考え、次の展開へつなげていくという流れを組み立てています。



## グループワーク：「地域福祉とのかかわり」を考える

5つのグループに分かれて、①各所属から提出された「関連事業」について内容を共有し、②ポイントを踏まえて、気づきの意見交換を行いました。

### 【ポイント】

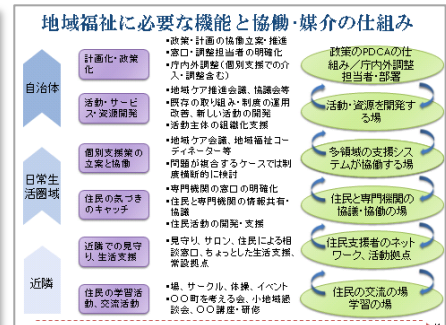
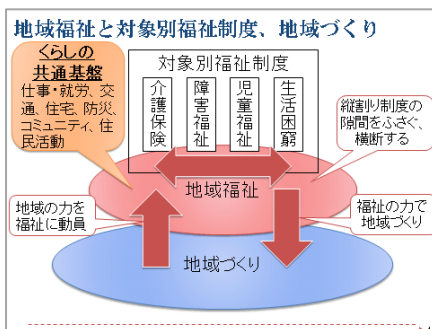
他所属と連携できそうなことは何か／市民主体の取組のための支援策は？／どんな成果が得られるとよいか



## 講話 「廿日市市における地域福祉の推進」

日本大学 文理学部 諏訪 徹 教授

アドバイザーの諏訪先生から、地域福祉の目的や必要性(市民視点、行政視点から)、地域福祉計画の意義、地域福祉を推進に向けた廿日市市の強みや課題などをお話いただきました。



## まとめ 地域福祉計画推進委員会 蛭江 紀雄 委員長

こうした庁内の推進会議あることは、廿日市市が誇っていることだと思います。次は支所単位で、ぜひこういう仕組みをつくっていただきたい。地域の課題、あるいは地域の将来ビジョンをみんなで共有し、行政だからできること、できないこと、地域住民だからできること、できないことをクリアにしながら、協力し合うとなにができるのかを考えると、成果が挙がり、やりがいが出てきます。

「地域住民にこんなことをしてもらえると、今やろうとしている行政施策の成果を挙げることが出来る」、ということ、皆さんから発信してください。地域住民は何かやらなきゃいけないと思っています。しっかり発信されることで、「それなら自分たちにもできるのではないか」、「どうやったら自分たちで応えられるか」という話は地域で必ず起きてきます。



いけなと思っています。しっかり発信されることで、「それなら自分たちにもできるのではないか」、「どうやったら自分たちで応えられるか」という話は地域で必ず起きてきます。

## ～ 参加した職員の皆さんの「今日の感想」から ～

- 今までにない部署の事業を聞かせていただき、新たな連携が浮かびました。
- あまり構えずに、取り組めるところから進めていきたい。
- 支所単位でのビジョンの共有と実践を頑張りたい。
- 他の課の福祉への取組を知ることで、自分の課の取組のアプローチの方向性を考えるきっかけになった。
- 昨年度から参加しているが、継続していることがすごかった。人事異動でメンバーが変われば、どんどん広がっていく。
- 初めて参加しました。まずひとつ一緒にやってみようと思えることもできたので、よかったなと思っています。
- 個別具体的なテーマで、改めて関係するセクションの担当職員が集まって協議できる場があればいいなと思いました。(こちらから声をかけるようにします。)
- 「福祉」というと特定の専門分野のイメージがありましたが、実は普段の地域活動とつながっていることがわかりました。よい出会いもありました。

## ～ 次回(第2回推進会議)の開催 ～

10月～11月頃に開催予定です。「関連事業」についての進捗状況、進めるうえで見えてきた課題について議論します。